測定指標		基準値		目標値					度ごとの目標の				測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠					
				基準年度		目標年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度					
	絶うさ	絶滅危惧種の うち種の保存 法により指定 されている種 の割合	_		15%	R12年度	I	I	-	-	-		ı					
	້ ວ່			-	15/0	八七十尺	11.3%	11.7%	11.9%	_	_	_	_	・絶滅危惧種の保全を効果的に推進するために、種の保存法に基づく国内希少野生動植物種の新規指定や見直し等を行う必要があるため。				
	( \$	絶滅回避率 (絶滅危惧種 のうち絶滅を 回避した種数 の割合)	_	_	100%	R6年度	_	l	100%	100%	100%	100%	100%	かたようほのなどようしょう などないほうのじ フェース・マース・アー				
	2 (C)				100%	20 + 皮	100%	100%	100%	_	_	_	_	新たな種の絶滅が生じないよう、絶滅危惧種の状況について評価するため。				
	( <u>1</u> 23 <i>洞</i> 2	ニノ頭(23減年デし去定れ去もンの推を比別では、1000年を推新を実別がた推動が生産ではいら、1000年ではいら、1000年ではいら、1000年ではいら、1000年ではいら、1000年である。これにはいらいのでは、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年である。これには、1000年では、1000年である。これには、1000年では、1000年である。これには、1000年では、1000年である。これには、1000年では、	推定の中央値 ニホンジカ311 万頭 イノシシ	平成23年度	平成23年 度比で半 減 (ニホンジ	半 ジ R10年度 シ		D10年度	_	_	ニホンジカ155 万頭、イノシシ 60万頭	_	_	_	-	ニホンジカ・イノシシによる自然生態系等への影響が深刻であり捕獲の一層の強化が必要であるため。なお、当初、令和5年度を目標年度にしていたが、特にニホンジカの個体数半減が難しい状況にあることから、令和5年9月に目標年度を令和10年度まで延長することを決定した。		
	うだし去定れ去		·	〒  纵23  牛  技	カ155万 頭、 イノシシ 64万頭)		ニホンジカ325 万頭、 イノシシ 87万頭	ニホンジカ318 万頭、 イノシシ 78万頭	集計中	_	_	_	_	というにおう、151に一ハンシカの				

	奄美大島にお けるマングラカ 最かにりの捕 獲数(1000度 日数)	_		0頭	R6年度	_	_	0頭	0頭	0頭	0頭	0頭	特定外来生物による生態系への被害を防止するため、特に奄美大島において我が国固有の希少野生動物への大きな被害を及ぼしている特定
				O U	10千皮	0頭	0頭	0頭	_	_	_	_	外来生物マングースを科学的知見に基づき根絶する必要があるため。
5	ヒアリの定着	_		0地点	R6年度	_	_	0地点	0地点	0地点	0地点	0地点	特定外来生物による生態系への被害を防止するため、特にまん延した場合に著しく重大な生態系被害が生じるおそれのある要緊急対処特定外
	地点数			ose m		0地点	0地点	0地点	_	_	_	_	来生物ヒアリの日本国内への定着を阻止する必要があるため。
測定指	<b>信標</b>	目	· 標	目標	年度							測定指標の	)選定理由及び目標(水準・目標年度)の設定の根拠
6	適切な野生生 物保護管理の 推進に向けた 対策の実施状 況	護管理の 野生生物の適切な保護管 に向けた。四										の高病原性鳥インフルエンザ等の発生状況の監視やモニタリング等を総合的に推進することにより、野生生物の保護・管理の強化に寄与するた	
7	侵略的外来種 の状況	侵略的外来科 経路が特定さ 位付けられ、 い種が制御さ される。	れ、優先順 優先度の高	-		外来種の情報	収集を行い、対	策の優先度のる	高い外来種を明	らかにすること	で、外来種によ	る生態系への	被害の防止を図るため。また、外来種の侵入経路の把握に努め、より効率的な対策を進めるため。

達成手段 (開始年度)		行政事業 関連する指標 レビュー 事業番号			達成手 (開始年	=段 =度)	関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号		達成手段 (開始年度)		関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号		達成手段 (開始年度)		関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号	達成手段 (開始年度)			関連する指標	行政事業 レビュー 事業番号
(1)	希少種保護対 策費 (平成4年度)	1,2	004905		(5)	指定管理鳥獣 捕獲等事業費 (平成26年度)	3	004909		(9)	_		_		(13)	_	_			(17)	_		
(2)	国際希少野生 動植物種流通 管理対策費 (昭和61年度)	6	004902	<u>}</u>	(6)	アジア太平洋 地域渡り鳥及 び湿地保全推 進費 (昭和57年度)	6	004882	(	(10) —	_	_	_		(14)	(14) —	_	_		(18)	_	_	_
(3)	鳥獣保護管理 対策費 (昭和46年 度。一部平成 10、14、21、24 年度、令和5 年度に開始・ 変更。)		004896		(7)	外来生物対策 費 (平成16年度)	4,5	004906		(11)	_	_	_		(15)	_	_	_		(19)	_	_	_
(4)	鳥獣感染症対 策費 (平成17年度)	6	004907		(8)	遺伝子組換え 生物対策費 (平成16年度)	6	004908		(12)	_	_	_		(16)	_	_	_		(20)	_	_	_
	目標達成度 合いの 測定結果		な機関共通区    判断根拠)	分)						unumaunumaunumaun													
評価結果	目標達成が出来なかった要因、その他施策の課題等																						
	次期目標等 への 反映の方向 性		【施策】																				
学識経 の知見	」 験を有する者 の活用											SDGs目	標との関係	【主な目標	別の表が期待され	れる目標】							
政策評 におい 料その	価を行う過程 て使用した資 他の情報																						